

大雨 (河川氾濫・土砂災害)

大雨① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市防災マップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しよう。



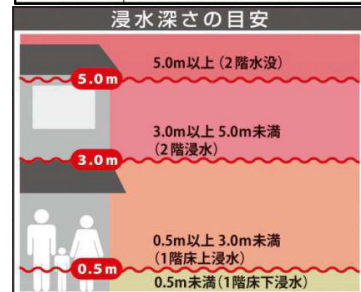
国土交通省
重ねるハザードマップ

(河川氾濫) (土砂災害)

河川氾濫による危険

○浸水想定区域 (浸水深)
川が氾濫した場合に水するおそれがある区域

浸水が10.0~20.0mの区域
浸水が5.0~10.0mの区域
浸水が3.0~5.0mの区域
浸水が1.0~3.0mの区域
浸水が0.5~1.0mの区域
浸水が0.3~0.5mの区域
浸水が0.3m未満の区域
河岸侵食 (洪水の流れにより河岸が削り取られるおそれがある区域)
内水浸水域
水位周知河川※を含む区間



土砂災害による危険

○土砂災害特別警戒区域
土砂災害が発生した場合、建物の破壊が生じ、住民等の生命や身体に著しい危害が生じるおそれのある地域

○土砂災害警戒区域
土砂災害のおそれのある地域

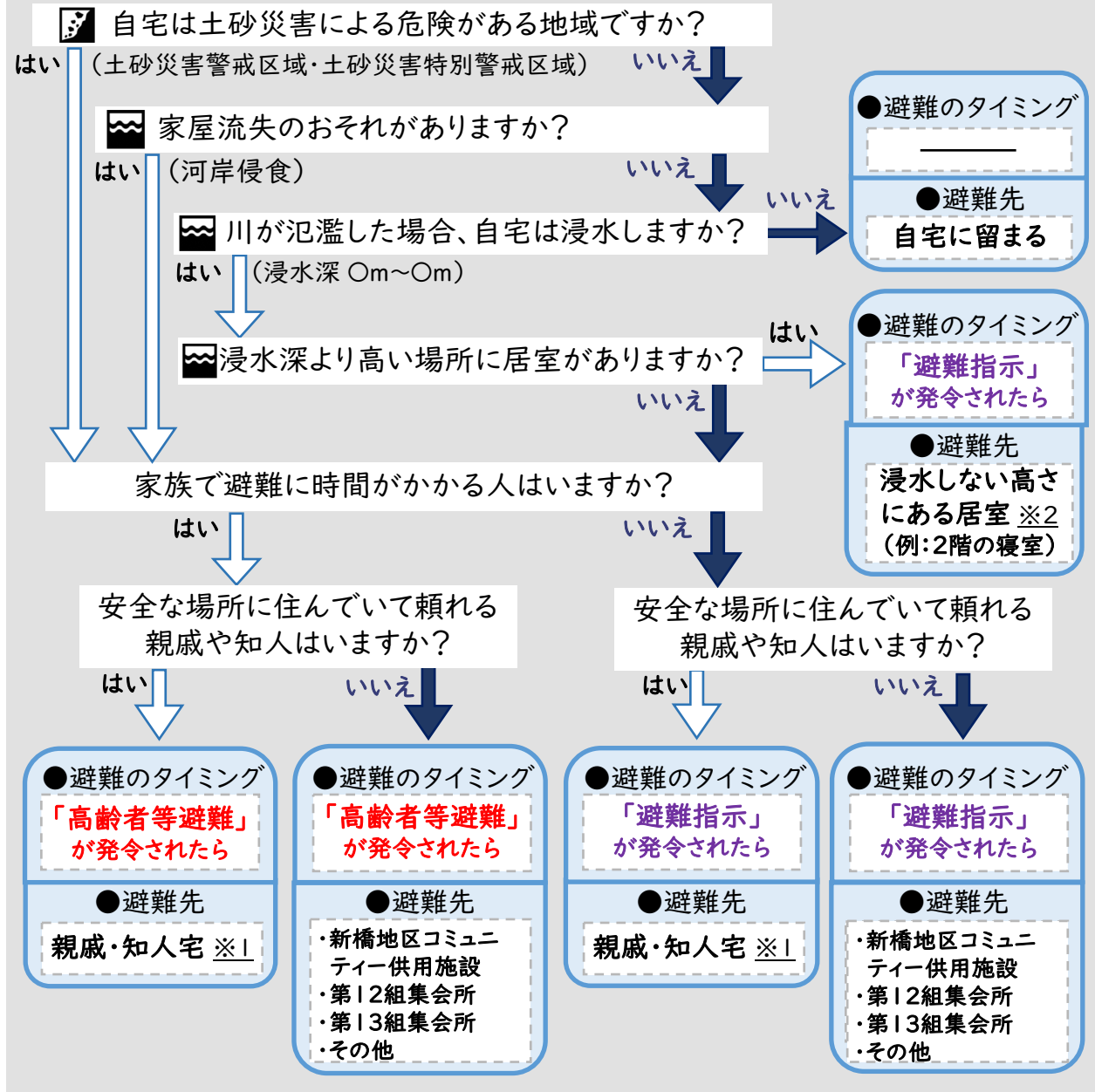
土砂災害特別警戒区域
土砂災害警戒区域

※出典:御殿場市洪水ハザードマップ

イ 右記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう

大雨② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。
※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ」などを準備しておこう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況

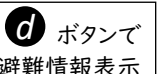
- ・御殿場市公式LINE
- ・御殿場市ほっとメール

避難情報や気象警報等

- ・静岡県防災アプリ
- ・その他アプリ

避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ



※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに2次元コードを掲載しています。

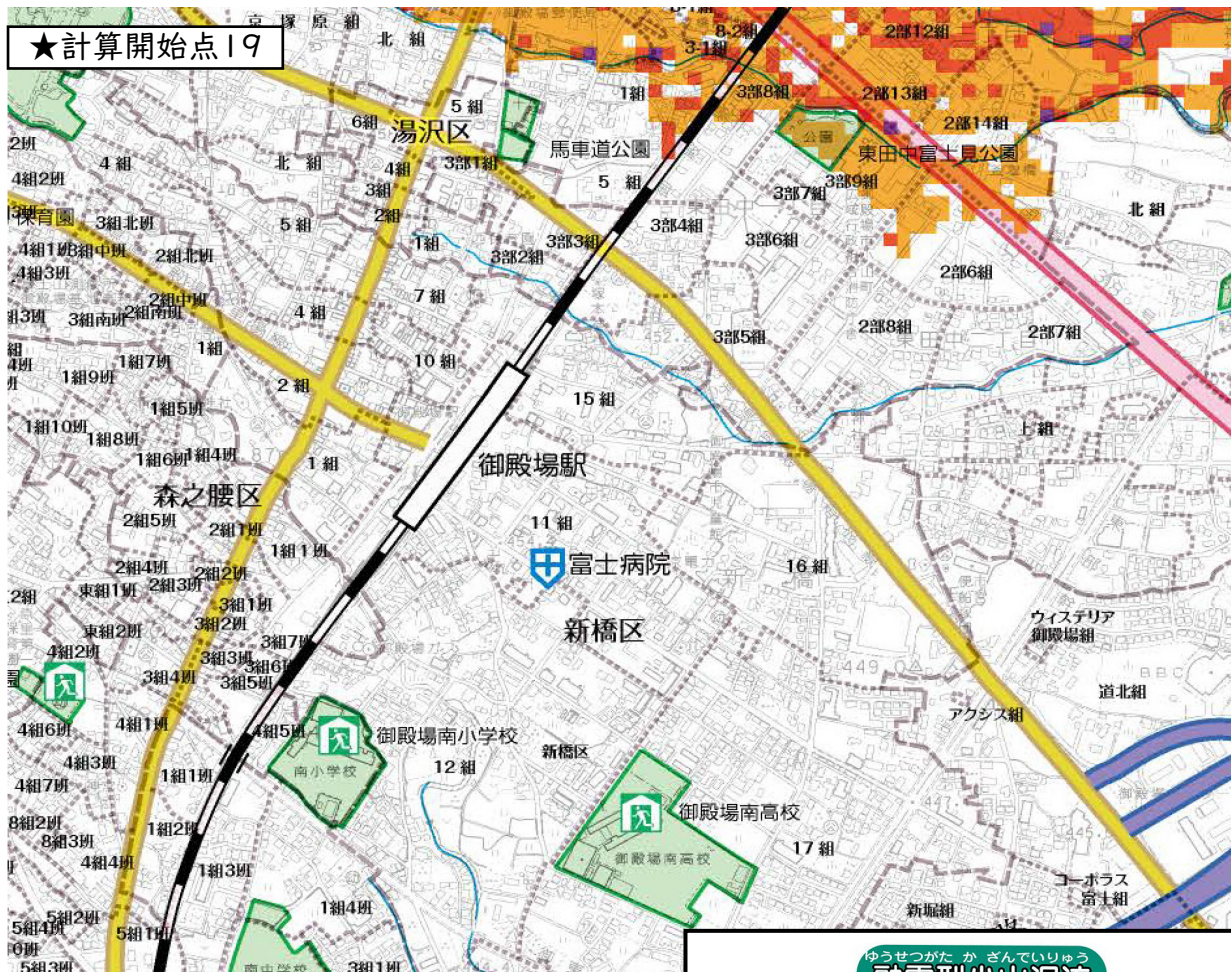


火山 融雪型火山泥流

融雪型火山泥流① ハザードマップで自宅の危険を確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見えにくい場合は「御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ」で確認しよう。



※出典:御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ(危険度区分)

凡 例	
-----	区(班) 界
-----	組 界
	市指定広域避難地
	市指定広域避難所
	救 護 病 院
	雨 量 観 測 所
	市 役 所 ・ 支 所
	交 番 ・ 駐 在 所
	消 防 署 ・ 分 署



御殿場市富士山融雪型火山泥流ドリルマップ(危険度区分)

融雪型火山泥流

雪が積もっている時に噴火しそうになった場合に、沢や川には近寄らないようにする必要があります。

(積もった雪が火砕流により溶かされた場合、発生した泥流が沢や川沿いであふれるおそれのある範囲を示しています。)

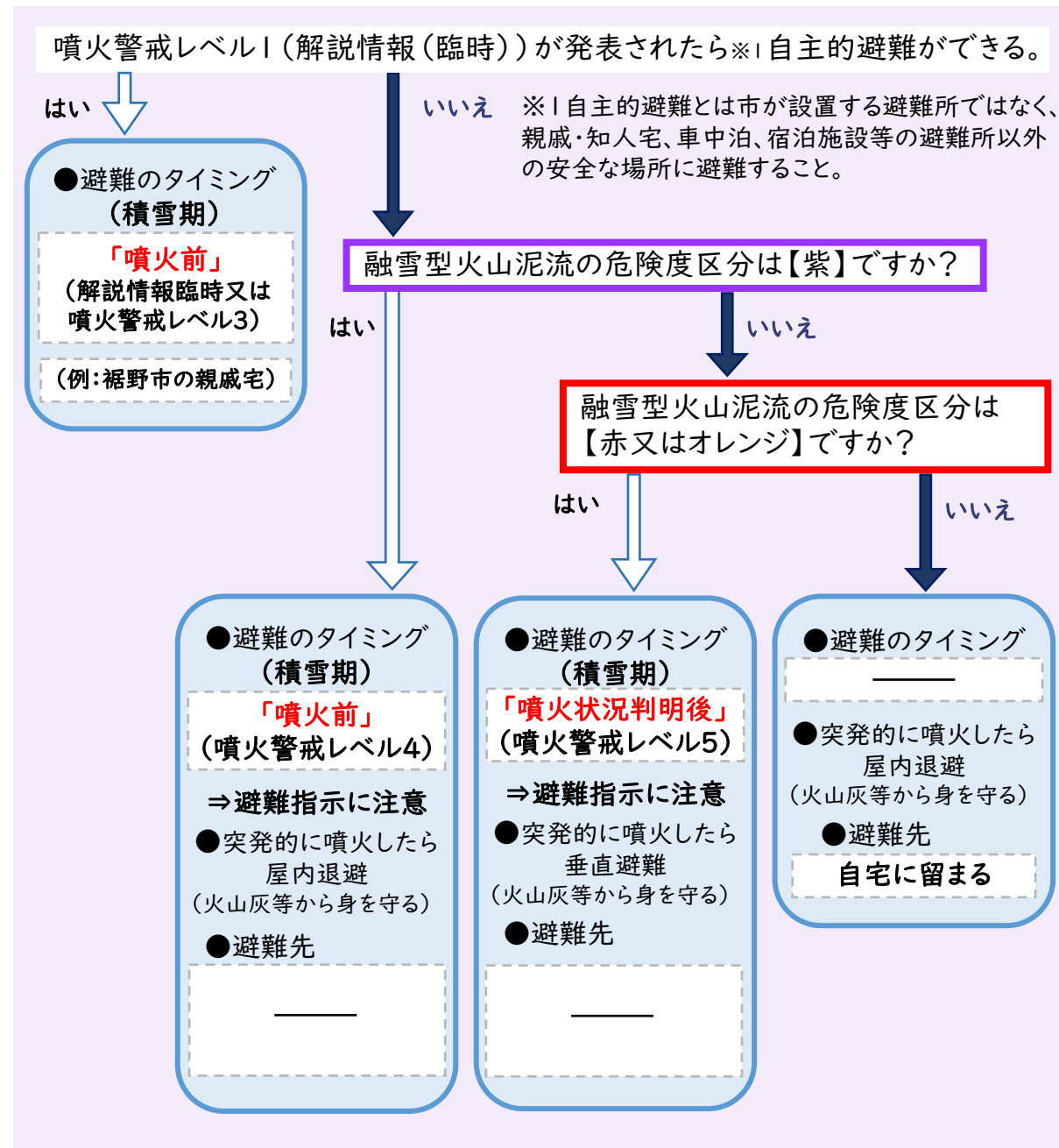
雪が積もっている季節に噴火が始まると、火砕流などの高温の岩で雪が解けて、斜面の土砂を取り込んで高速で流れ下ります。おもに谷底など低いところを流れますが、あふれて広がることもあります。山頂付近から一気に流れ下るので早めの避難が必要です。

危険度区分

- 十分な注意を払った上で、徒歩による避難が可能な条件の区域
- 事前の避難または建物内での垂直避難が必要な区域
- 事前の避難が必要な区域

融雪型火山泥流② 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう



イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しよう

避難情報や同報無線の放送、避難所の開設状況 ・御殿場市公式LINE ・御殿場市ほっとメール	避難情報や噴火警報等 ・静岡県防災アプリ ・その他アプリ	避難情報やニュース ・テレビ ・ラジオ ボタンで避難情報表示
---	------------------------------------	---

※市の公式LINEやほっとメール、県防災アプリについて、8ページに2次元コードを掲載しています。

① 上記、融雪型火山泥流の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しよう